

紙面から

教育随想

「彼岸花」

岡崎市教育委員会教育委員長

杉山 光氏

この人に聞く

藤川宿資料館地元館長

松坂 昇一氏

特集

「頑張っています」

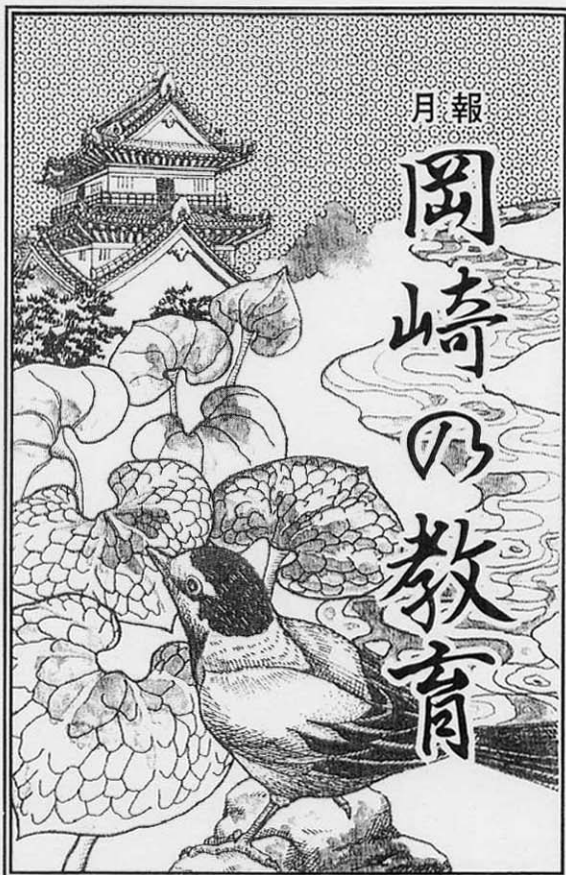
ユニーク部活動

師弟同行

岩月 健・富田綾子

フォト・ヒストリー岡崎の教育

猛威を振るった伊勢湾台風



9月号

平成9年9月1日

発行/編集

岡崎市教育委員会



(児童会スポーツフェスティバル 靴とばし—美合小)

曼珠沙華は、秋のお彼岸の頃に真っ赤な花を咲かせます。曼珠沙華は彼岸花と別の名もあります。ヒガンバナ科の植物ですから、彼岸花の方が本名でしょう。

彼岸花は球根でふえる植物です。しかし、球根には、アルカロイド系の毒が含まれていて、そのままでは食べられません。この毒は、水にさ



らすことによって無毒になるそうで、昔の人は飢饉のために寺の境内や墓地に植えました。昔の人々が、わざわざ寺や墓を選んで植えたのは、飢饉も最後の最後になって、いよいよ食べる物がなくなつたときに、この彼岸花の球根を食べるためです。

それまでは、「彼岸花には毒があ

る」と言っておくのです。墓地などに植えたのは、人々もよくよくのとがなければ手を出さないからです。私も、子供の頃は、彼岸花には毒があると触ることもしませんでした。

日本のある学者が、この彼岸花を見て考えました。彼岸花は球根でふえる植物なのに、なぜ花を咲かせて

— 教育随想 —

彼岸花



岡崎市教育委員会
委員長
杉山 光

蝶を誘うのか、と。

自然科学の立場から眺めると、「彼岸花はかつて実生で繁殖していた。今は、その進化の名残りで花を咲かせ蜜を出している」と説明するでしょう。

しかし、その学者は、なんとという簡のせまい自然観だろうか、と言っています。

自然科学の考えからは、「動植物はそれぞれの種の保存と利益のため進化し、自然を作っている。強い動物が弱い動物を殺して食う。そのような自然界は、弱い動物の淘汰が行われ進化がある」となります。

その学者はそうでないと言っています。「彼岸花は、自分のために花蜜を出す必要はないけれども、自分の力に余力があるから、蝶のために蜜を出してあげているのだ」と言っています。私もすばらしい考え方だと思います。

この学者は、宗教について何も語っていませんが、考えの中に、「布施の思想」を感じます。

彼岸花ばかりではありません。よく見てみると、自然の中では、生き物が、みんな互いに布施し合いながら生きています。

彼岸花も、自分たちのためには、直接の役に立たなくても、それが蝶の好きな食物として役立つなら、彼岸花の存在意義が認められることになります。

弱肉強食の競争社会で、生を強いられていた神戸の少年も、自然を清らかな目で観察したら、自分の存在意義にきつと気づくはずですよ。

(すぎやま ひかる)



誉めること

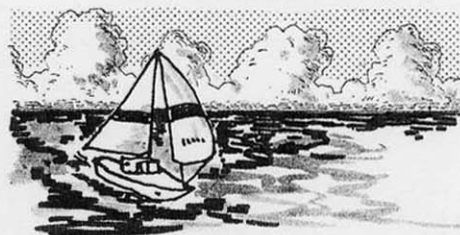
福岡中学校長

石川 春次

職員室後方で、突然T先生の大声があがった。「N君、こんなだらしのないことでどうするの」と。少しふてくされた表情の一年生のN君にT先生は、「とにかく今日はここで書いてから帰りなさい」と、漢字ノートを渡して自分の机上で書かせてから帰した。彼が職員室を出るのを待って、私は彼の国語を担当しているT先生の所に行き、事情を聞いた。T先生の話によると、宿題の漢字ノートを渡さないで、残ってやっていくように言っても無断で帰ってしまった。こんなことが今日で三日も続いたので、ついに大きな声を出してしまったとのことである。ところが、次の日も彼はノートを出さないうで帰ってしまった。T先生が、彼の家に電話をかけて呼び出さなくてはいけないのかなあと心を痛めていると、

ふるさとシリーズ

この人に聞く



藤川宿資料館地元館長

松坂 昇一氏

東西に伸びる町並み、それと並行して走る名鉄本線と国道一号線。松坂さんのお宅は、そんな藤川の町が一望できる小高い山の麓にある。

松坂さんは、大学を卒業以来ずっと額田郡で教鞭を執ってこられた。社会科が専門で、藤川宿について関心を持ち、前藤川宿館長の原田市郎氏とも懇意になられた。原田氏が力を注がれた一つに「むらさき麦」の再現がある。「爰も三河むらさき麦のかきつばた」——芭蕉の句にある

「原田先生の研究の姿勢には、趣味とか興味とかではなく信念のよう

なものを感じました。藤川宿の将来を常に考えられていたように思います。」

その原田氏が今年六月に他界され、松坂さんがその後を受け継がれた。

「藤川宿は、他の地域に比べて宿場の資料や古文書が少ない。だから、写してもよいから資料を収集し、情報の発信源の役割を果たしていきたいと思っています。そのためには、資料館に、話し合いができる部屋や資料を保存する場所ができればと思います。」

先日も、藤川小学校からの依頼を受けて、子供たちに藤川宿について講演をされた。安藤広重の東海道五十三次の浮世絵にある「藤川・棒鼻の図」について話された。郷土藤川宿に愛着が持てる子になってほしい、そんな願いを持って、今後も引き続き子供たちに話をされていくことになっている。

現在、愛知県文化財保護指導委員をしておられ、また県民大学の講師をされるなど、多忙な日々を過ごしておられる。

「講座で話すことは、いわば氷山の一角で、それを裏付けるための基礎調査が必要です。その間にいろいろな発見があります。そんなと

き、私は生きがいを感じるんです。」と話される。

講座受講生の中高年の方との会話の中で、生きがいが話題になることがあるが、「生きがいとは、自分がない何かを求めていくのではなく、今ある自分らしさを出していくこと」と話された。

小学生から大人まで、多くの人に接し、そこからまた多くのことを受容されている松坂さんは、「生きがい」の真つただ中におられる。

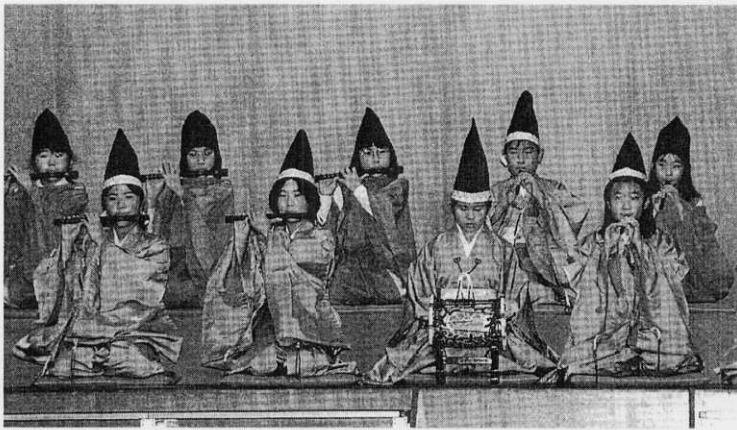
氏名 まつざか しょういち
生年月日 昭和五年八月一日
住所 藤川町西川向一三十三



暗くなつた七時過ぎに、漢字ノートを持ったN君が職員室に入ってきた。少しはにかんだ顔の彼を見ながらT先生は、約束を守ったことを一杯に表現して喜び、心の底から褒めた。

次の日も、朝の提出はできなかつたが、夕方漢字ノートを持って学校にやってくる彼の姿があった。こんなことが続いた三日目のことである。ついに、下校前にノートを提出することができたのである。T先生は、この三日間の彼の努力を称え、前と同じように褒めた。すると、なんと次の日には始業前にきちんとノートが提出されていたのである。その後も時々、提出が遅れることはあるが未提出はないという。それ以来、T先生は彼との間にあった障壁がとれ、彼の心の様子が分かるようになった気がするという。四月のオリエンテーション合宿や授業中の校内巡視で、私も彼の落ち着きのなさは感じていたが、このことをきつかけに彼の態度に大きな変化が出てきたことは確かである。

日常、褒めることは大切だが、分かっていながらつい口から出るのは小言が多い。「褒めることの大切さ」をあらためて実感するT先生とN君との関わりであった。



▲矢作北小 雅楽部 H3創立
岡崎のハーモニー、伝統芸能祭に参加
H8岡崎市教育文化賞受賞



▲大門小 自転車部 S56創立
交通安全子ども自転車岡崎地区大会連続15回優勝
交通安全子ども自転車愛知県大会連続15回出場

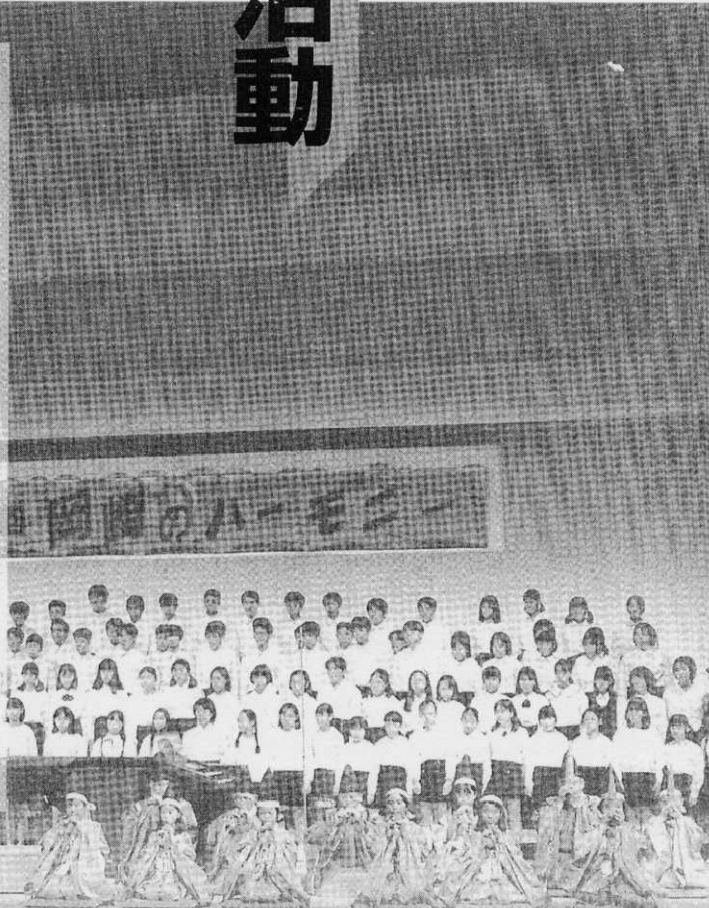
頑張っています

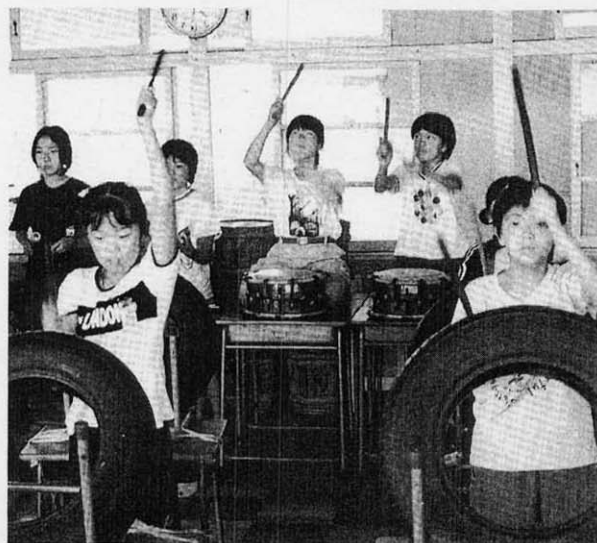
ユニーク部活動

夏休み中の大会を終え、多くの部活動が来年度に向けて新たな一歩を歩み始める。部活動で子供とともに歓声をあげたり悔しがったりする心の高ぶりは、先生と子供が一つになって努力してきたからこそ分ち合えるものであろう。

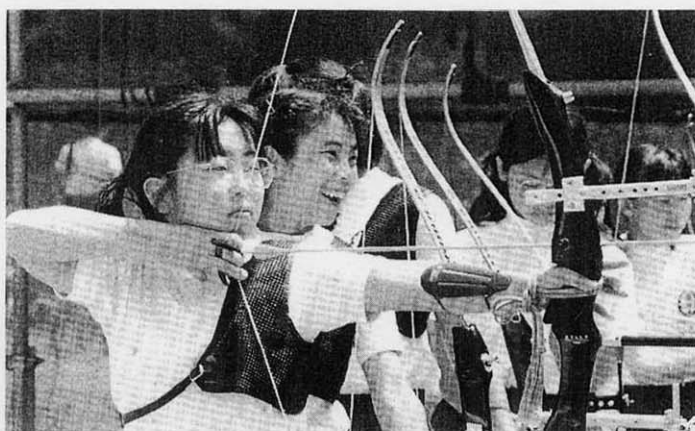
岡崎市には、小学校に約二百九十、中学校に約三百五十の部活動がある。これらの中には、その学校の地域性や伝統を反映したユニークな部活動が存在する。そして、その独自の活動は、現在多方面から注目され高い評価を受けている。

「蛭飼育部」(美合小)は、長年、生田蛭の飼育保護活動を続け、また山網川の水質検査などにより、学区の環境保護にも貢献している。「自転車部」(大門小)もその歴史は長く、国道二四八号線など車の往來の激しい地域を学区に持つ大門小学校ならではの部活動と言える。「和太鼓部」(大樹寺小)、「雅楽部」(矢作北小)は、古典芸能を部活動に取り入れ、それに興味を持つ子供たちが良き伝承者となっている。これまでに伝統芸能祭





▲大樹寺小 和太鼓部 H8創立
H5に「祭りばやしクラブ」として発足
伝統芸能祭連続出場



▲東海中 アーチェリー部 H3創立
全国中学生大会で活躍、優勝を含む連続上位入賞
卒業生は国体で活躍、優勝を含む上位入賞



▲美合小 蛍飼育部 S52創立
S61岡崎市教育文化賞受賞



▲新香山中 カヌー部 H3創立
H6より県大会連続優勝
卒業生は全国大会、国際大会で活躍中



▲東海中 ギター部 H3創立
H5 CBC子ども音楽コンクール 優良賞受賞

に出演したり、老人ホームの慰問や敬老会、文化祭等でその成果を発表したりして大変好評を得ている。

中学校では、「カヌー部」(新香山中)が、学校に近い岡崎市カヌー練習場(巴川)で練習を積み、また「アーチェリー部」(東海中)が、市中央総合公園アーチェリー場で週に一度開かれる協会主催の練習会に自主参加している。共に、平成六年のわかしやち国体では、卒業生が大会に華を添えた。また、身近な楽器であるギターの奏法を学ぶ「ギター部」(東海中)の練習の教室には、今日も軽やかな音色が響いている。

「習うより慣れる」——小学生や中学生のうちから部活動で知識を広げ、その技能を身につけることは、意義深い。ユニークな部活動で学んだ子供たちは、時代が求める個性豊かな子供たちそのものである。地の利を生かし地域に根ざした部活動、世代間の交流を実現した部活動など、独自の歩みを続けるこれらの部活動の今後に期待したい。

ふれあい

バン格拉デシユの七夕

ダツカ日本人学校

濱井 康彦

「先生、まちがえたらどうしよう。」

M子は、朝から心配そうだった。今日のかねてから計画されていた七夕集会。この集会には、日本人学校の近くにある現地校シエラバングラ校の子供たちを招待している。M子は、全体会とグループ活動の場面で説明をすることになっていた。

「大丈夫。通訳をしてもらうから、ゆっくり説明してね。」

「みんな、きちんとやってくれるかなあ。」

「心配しないで、いつものように明るくね。」

シエラバングラ校の子供たちがやってきた。みんな緊張した顔つきで迎えている。

子供たちの歌が始まる。いよいよM子の出番。歌の振り



付けを説明するのだ。「初めは……」説明を終え、みんな一緒に動作をつけながら歌った。現地校の子供たちもとても表情豊かに踊っていた。

「ちよっと失敗しちゃった。」グループ活動の部屋へ移動するとき、M子はつぶやいた。

「みんな楽しそうだったよ。次も頼むね。」

部屋では、願い事を書いた短冊を笹に付けたり、いす取りゲームをしたり、楽しいひと時を過ごすことができた。

願い事には、子供たちの生活の違いが反映されていた。

「〇〇がほしい」―日本の子供、

「〇〇になりたい」―バン格拉デシユの子供。

師弟同行

やさしいまなざし

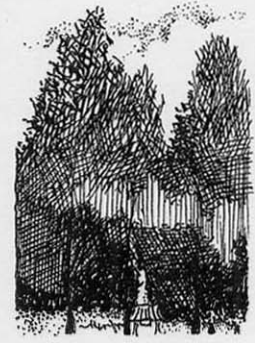
本宿小学校

富田 綾子

今、私の手元に「ももいろのきりん」という絵本があります。先生、覚えていらっしゃいますか。小学校二年生の時、転校した私に先生が贈ってくださいましたのです。この本を見るたびに、私は先生の優しい笑顔

を思い出します。岩月先生に担任していたのは小学校一年生の時でした。この一年生は、私にとって、格別思い出深いものになりました。そして数多くの楽しい思い出を残してくれました。先生の手にぶら下がったり足の下をくぐったりして過ごした

放課。私たちの心をわくわくさせた授業。「おむすび



ころりん」の音読で、登場人物の声をすべて変えて読み、学級の人々に大笑いされた私。その時先生はにっこり微笑み、

「それでいいんだよ。」とほめてくださいました。このことは、今でも私の心に鮮やかに焼きついています。

私が教員に採用された時、真っ先に電話をくださったのも先生でした。常に広い心と深い愛情をもって私たちの成長を見守ってくださる先生を、心から尊敬しています。

出藍の誉れ

前城北中学校長

岩月 健

昭和五十三年四月、広幡小一年一組の担任としての出会いでしたね。

それまで十五年余り中学校しか経験がなかったので、当時の荻野富義校長先生にお願いして一年生を受け持たせていただきました。

そのクラスに、竹内里佳さん(秦梨小)とあなたがいました。二人とも、明るく、かわいく、積極的な、担任から言えば、申し分ない小学生でした。

長い中学校生活で、どちらかと言えば、自分の意志で生徒を引っ張ってきた自分には、何もかも新鮮で、楽しい毎日でした。その中で気づいたことは、「子どもにも人格がある」ということでした。今こんなことを言えば、非難を浴びるでしょうが、それまで自分がしてきた指導を振り返り、新しい子ども観を与えてくれた貴重な一年でした。

片手でオルガンを弾く音楽、植物の名前も教えてあげられない理科、無我夢中と言えば聞こえはいいのですが、みんなにとって大切な一日が力のない教師によって無為に過ぎていったのではないかと反省しています。

お知らせ



◆平成九年度県健康推進学校・特別優秀校 恵田小

◆第十七回全日本バレーボール小学生大会愛知県大会

優勝 男子 矢作北小
女子 常磐小

両チームは全国大会出場

◆県中学校ソフトテニス大会

女子 優勝

矢作中 稲垣・鈴木組

◆平成九年度児童生徒緑化・愛鳥作品コンクール

緑化ポスターの部 特選

矢作北小二年 和田 拓也

六ツ美北中三年 清水のぞみ

◆第三回全国小学生相撲大会

団体三位 岡崎相撲教室

個人優勝

男川小二年 青山 貴昭

三位

美合小三年 加藤 瞳

◆第十四回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会

アナウンス部門

最優秀 城北中 竹内 梢

●平成九年度岡崎市小学校体育大会

種目	性	優勝	2位	3位
ソフトボール	男	梅園	矢作東	広幡
	女	羽根	連尺	細川
バレーボール	男	矢作北	六ツ美南	上地
	女	常磐	矢作北	小豆坂
バスケットボール	男	六ツ美南	三島	広幡
	女	竜美丘	大門	上地
サッカー	男	上地	細川	根石
	女	大門	大樹寺	矢作東
水泳競技	北ブロック	男	大門	大樹寺
		女	大樹寺	根石
	南ブロック	男	三島	竜美丘
		女	竜美丘	三島

●第50回岡崎市中学校市長杯総合体育大会

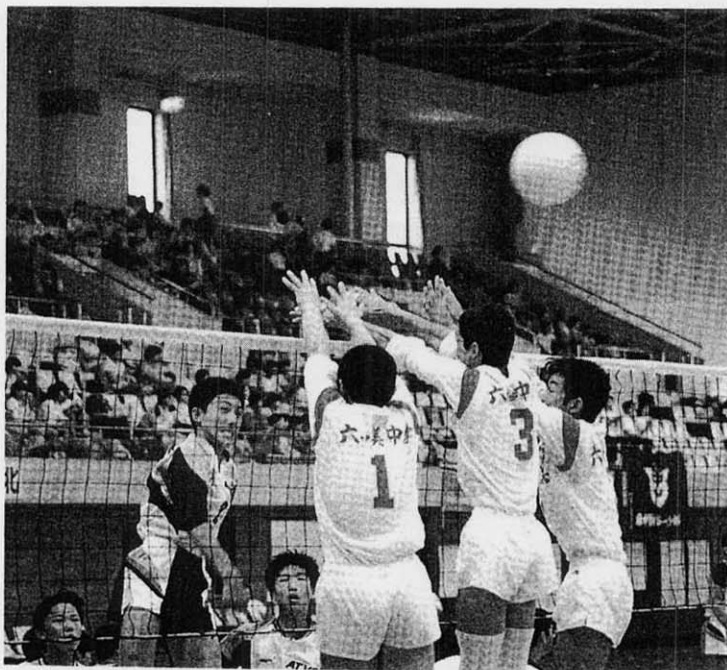
種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	六ツ美北	竜海	東海
	女	矢作	甲山	矢作北
バスケットボール	男	竜南	竜海	城北
	女	竜南	美川	幸田北
バレーボール	男	矢作北	六ツ美	南
	女	矢作北	竜海	矢作
ソフトテニス	男	福岡	城北	常磐
	女	矢作	福岡	竜海
卓球	男	幸田北	幸田	城北
	女	額田	幸田南	南
体操	男	竜海	甲山	
	女	甲山	竜海	矢作北
新体操	男	東海	竜海	
	女	甲山	竜海	南
剣道	男	額田	竜海	幸田北
	女	幸田北	額田	矢作北
ハンドボール	男	竜南	葵	城北
	女	美川	竜南	六ツ美北
軟式野球	男	額田	矢作北	新香山
	女	城北	矢作北	幸田
ソフトボール	男	六ツ美北	甲山	竜海
	女	甲山	竜南	新香山
サッカー	男	南	矢作北	北
	女	葵	矢作	城北

●岡崎市中学校市長杯総合体育大会総合成績

成績	男子総合	女子総合	男女総合
優勝	竜海	竜海	竜海
2位	矢作北	矢作	矢作北
3位	東海	竜南	矢作
4位	矢作	矢作北	竜南
5位	城北	甲山	東海
6位	竜南	南	南

優秀 常磐中 川島 沙織
優良 葵中 峰澤佐由巳
朗読部門 城北中 梅村 亜衣
最優秀 城北中 浅井千代子
入選 葵中 柴田 美紀
常磐中 長坂 優一

◆平成九年度西三河中学校選手権大会
優勝
バスケットボール 男子 竜海中
バレーボール 男子 矢作北中
女子 矢作北中
ソフトテニス 男子 矢作北中
女子 矢作北中
体操 男子 竜海中
女子 矢作中
新体操 男子 甲山中
女子 甲山中
ハンドボール 男子 東海中
女子 東海中
軟式野球 男子 新香山中
女子 美川中
ソフトボール 男子 城北中
女子 葵中
水泳競技 女子 葵中



▲市長杯総合体育大会 バレーボール男子の部



フォト・ヒストリー 岡崎の教育

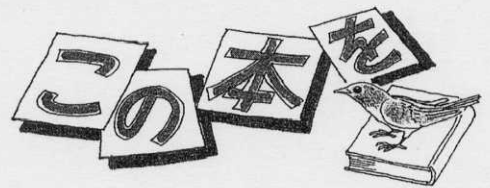
猛威を振るった伊勢湾台風



写真提供 甲山中

昭和三十四年、伊勢湾台風で岡崎市内の学校は甚大な被害を受けた。甲山中学校も例外ではなく、写真のように瓦が飛び、屋根が飛んだ。当時の職員の杉本安先生は、「宿直をしていたらガラスが割れ、恐くて部屋にいられなかった。台風が過ぎたあと、一階の宿直室から上を見たら空が見えた。」と回想しておられる。高台にあり、風当たりが強く、大きい台風だと今でもガラスが割れる。木造校舎では相当な被害であったであろう。写真は杉本先生が、隣の山に登り撮られた。

・表紙写真 美合小 石川昌幸
 ・カット 竜美丘小 長坂博子



- * 司馬サンの大阪弁 日本エッセイスト・クラブ編 文藝春秋 ￥1381
- * あきらめない人生 瀬戸内寂聴 集英社 ￥448
- * 生きたい! キムウォンヒョン 金元滢一家 ￥1500
- * 「職員室」の心の病 ザ・マサダ刊 大原健士郎 講談社 ￥1500

- * 『藤山一郎とその時代』 池井 優 新潮社 ￥1500

戦前の「東京ラプソディ」、戦後の「青い山脈」など数々のヒット歌謡を歌った藤山一郎の伝記。

昭和6年、「酒は涙か溜息か」を歌い、レコードが百万枚を超える大ヒット。この時の藤山一郎は、まだ無名の新人、おまけに芸大の学生だったため、身分を隠した。それが分かって芸大で停学処分を受けた。「楷書の人生」といわれたほど折り目の正しい人生を送った藤山一郎の珍しく愉快的なエピソードである。

岡崎市内の小中学校には約六百四十の部活動がある。

子供には無限の可能性があるが、それを引き出す場の一つは部活動であると言っても過言ではない。また、学年の枠を越えた人間交流ができることも、子供にとっては魅力のようである。

シオ

スア

安藤広重の描いた「棒鼻の図」の話に子供たちは耳を傾けた。絵の中に出てくる棒鼻が、西のものか東のものか子供たちも続きの話聞きながらがつている。

子供たちの興味をかきたて、疑問を持たせる話し方には学ぶべき点があっても多かった。

自然と共に過ごすことが減ってきている。パソコンやテレビで疑似体験ができる世の中、自然と対話して過ごす方がぜいたくなのかもしれない。

セミを追いトンボを追ひ、真つ黒に日焼けした子供がなつかしい。静まりかえった教室に、にぎやかな声が戻ってきた。

過ぎしやすといえ言葉はよきの上がる暑い日の少なかった今年の夏。一方で、自然災害は、全国的に今年も多く被害をもたらした。

伊勢湾台風の教訓は生かされているのか。自然に対する人間の無力さを感じる。